

令和元年度  
盛岡ペットワールド専門学校  
自己点検・評価委員会結果報告書

令和2年3月

## 令和元年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡ペットワールド専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和2年3月

学校法人 龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

# 令和元年度 盛岡ペットワールド専門学校 自己点検・自己評価委員会結果報告書

## 1. 学校の教育目標

「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育内容(実践型授業の強化、専門授業強化における教員の指導力向上)
- (2) 学生支援(学生のキャリアパスにおける支援内容の体系化の実現)
- (3) 社会的活動

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### (1) 教育理念・目標

|     | 評価項目  | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|---|----------------|
|     |   | 今年             |
| 1   | 学校の理念・目的・人材育成像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか)  | 4              |
| 2   | 学校における職業教育の特色は何か  | 4              |
| 3   | 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか  | 4              |
| 4   | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか   | 3              |
| 5   | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか  | 4              |
| 課題  | 学校の理念、人材育成像について目標を設定している。学生一人一人が、学校理念を理解し、個人の成長を目的とした目標設定や計画までは進んでいるが、実行と達成については課題が残った。また、学校理念や目標を保護者に周知することや、その活動により学生の成長をバックアップする環境整備も課題が残っている。 |                |
| 改善策 | カリキュラムポリシーやデュプロマポリシーを設定してカリキュラムを作成している。一人一人の目標や評価方法、成長について実施しているルーブリック評価などを保護者に周知するとともに、職員全体で把握できる状況を整備する。  |                |

## (2) 学校運営

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 目的等に沿った運営方針が策定されているか   | 4              |
| 2   | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか  | 4              |
| 3   | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか   | 4              |
| 4   | 人事、給与に関する規定等は整備されているか  | 4              |
| 5   | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか   | 4              |
| 6   | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか  | 4              |
| 7   | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか   | 3              |
| 8   | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか  | 2              |
| 課題  | 教育活動等に関する情報公開は、授業計画表などをホームページを活用して行っているが、授業の様子や課外活動、インターンシップ、ボランティア活動なども積極的に公開をすることで、取組みを広く周知する。業務運営の効率化については、新たな手法を取入れられず、従来の手法のみで業務に取り組んでいる。 |                |
| 改善策 | 授業の終了時間を早期化することで、教職員の研修などに取組む時間を確保する。また、効果的な情報公開を促進する。   |                |

## (3) 教育活動

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか  | 4              |
| 2   | 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか   | 4              |
| 3   | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか  | 4              |
| 4   | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか   | 4              |
| 5   | 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか  | 4              |
| 6   | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか  | 4              |
| 7   | 授業評価の実施・評価体制はあるか   | 4              |
| 8   | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか  | 4              |
| 9   | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか   | 4              |
| 10  | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか   | 4              |
| 11  | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか  | 3              |
| 12  | 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか   | 3              |
| 13  | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか  | 3              |
| 14  | 職員の能力開発のための研修等が行われているか   | 4              |
| 課題  | 校内での実習を含め、インターンシップ実習やボランティア活動など企業や団体等の外部と連携をして学生の成長を支援している。優秀な教員の確保を目指す活動が不足している。職員の研修などについては、最低限の取組みとなっている。 |                |
| 改善策 | 教職員の採用についてはグループ全体の課題として取り組む。職員の研修などについては、授業終了時間の早期化などにより機会の増加を目指す。   |                |

## (4) 学修成果

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 就職率の向上が図られているか   | 4              |
| 2   | 資格取得率の向上が図られているか   | 4              |
| 3   | 退学率の低減が図られているか   | 3              |
| 4   | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか   | 4              |
| 5   | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか  | 4              |
| 課題  | 就職内定率と資格合格実績については、高い結果となった。退学者に関しては、学校一丸となつての取り組んだものの例年よりも高い状況となった。卒業生の支援として、卒業生向けの就職情報の提供などは継続して実施しているが、卒後教育につながる取組みには課題が残った。 |                |
| 改善策 | 退学者防止については、ミーティングの機会での職員間の情報交換の機会を増やす。卒業生へのフォローアップについては、卒業生と学校、及び卒業生同士が情報交換ができる状況を確立する。  |                |

## (5) 学生支援

|     | 評価項目  | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|---|----------------|
|     |   | 今年             |
| 1   | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか  | 4              |
| 2   | 学生相談に関する体制は整備されているか   | 4              |
| 3   | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか   | 4              |
| 4   | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか  | 4              |
| 5   | 課外活動に対する支援体制は整備されているか   | 4              |
| 6   | 学生の生活環境への支援は行われているか   | 4              |
| 7   | 保護者と適切に連携しているか  | 4              |
| 8   | 卒業生への支援体制はあるか   | 3              |
| 9   | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか   | 4              |
| 10  | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか   | 4              |
| 課題  | 経済的支援体制については、昨年度から引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。また、高等教育の修学支援新制度による学費無償化の対象校として、制度を案内している。就職などの進路についても、昨年度に続き高い実績を残すことができた。より高い教育効果を目指し、卒業生を対象とした内容も検討する。 |                |
| 改善策 | 卒業生については、動物看護師（愛玩動物看護師）の国家資格化に向けた情報を学校からも提供をすることで、支援をする。卒後教育に関しては、準備期間を設定して取り組む。授業の終了時間を早期化することにより、準備と実行ができる体制とする。                                    |                |

### (6) 教育環境

|     | 評価項目  | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|---|----------------|
|     |   | 今年             |
| 1   | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか                                  | 3              |
| 2   | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか                        | 4              |
| 3   | 防災に対する体制は整備されているか   | 4              |
| 課題  | 学生の成長に向けて、教育パソコンやタブレット端末を活用した教育環境の整備が必要である。また、その授業素材の研究や開発も必要となる。 |                |
| 改善策 | パソコンの整備、タブレット端末の使用環境の整備について計画を進めている。                              |                |

### (7) 学生の受入れ募集

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 学生募集活動は、適正に行われているか   | 4              |
| 2   | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか  | 4              |
| 3   | 学納金は妥当なものとなっているか   | 4              |
| 課題  | SNSを活用した広報活動の推進、高校訪問による広報活動などにより入学者の減少は最小限で抑えられた。家庭動物分野以外で、動物園や水族館での飼育員を目指す高校生が増加傾向にある。  |                |
| 改善策 | 動物関連での活躍や社会的意義、動物看護師（愛玩動物看護師）の国家資格化などについて、生徒のみならず保護者、高校教員、および社会人についても伝えていく。動物園や水族館の飼育員を目指すことができる授業内容を導入する。小中学生、保護者向けの仕事の体験会等を継続して実施する。 |                |

### (8) 財務

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか                       | 4              |
| 2   | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか                       | 4              |
| 3   | 財務について会計監査が適正に行われているか                          | 4              |
| 4   | 財務情報公開の体制整備はできているか                             | 4              |
| 課題  | —  |                |
| 改善策 | 法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。 |                |

#### (9) 法令等の遵守

|     | 評価項目   | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|--|----------------|
|     |  | 今年             |
| 1   | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか                          | 4              |
| 2   | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか                             | 4              |
| 3   | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか                                  | 4              |
| 4   | 自己評価結果を公開しているか   | 4              |
| 課題  | 法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。 |                |
| 改善策 | 第三者評価の実施に向け、継続しての仕組み作りをグループ全体で構築していく。                  |                |

#### (10) 社会貢献・地域貢献

|     | 評価項目  | 自己点検・<br>評価結果※ |
|-----|---|----------------|
|     |   | 今年             |
| 1   | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 4              |
| 2   | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4              |
| 3   | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4              |
| 課題  | 本校の強みである、地域貢献、動物愛護週間でのボランティア活動など数多く取り組んでいる。 |                |
| 改善策 | 地域ニーズを関連団体等の連携により収集し、よりきめ細やかな支援を展開していく。     |                |

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる学校主体の取組みは浸透しているが、グループ等で行う内容については課題が残る傾向がある。学生募集に関しては、動物関連分野の理解につながる活動を取り入れながら行ってきた成果はあったが、家庭動物分野の学びだけではなく、野生動物に関する学びの充実も目指す。地域貢献活動は、回数や内容について充実している。一方で地域に貢献できる教育機関として更に成長をするため、関連団体との連携強化を推進する。教育の質の向上や業務の効率化については、授業終了時間の早期化により推進をする時間を確保して取り組む。

令和元年度  
盛岡ペットワールド専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書



令和2年8月5日

## 令和元年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡ペットワールド専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を令和2年8月5日に開催いたしました。以下に、その内容を報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

### 1. 学校関係者評価委員

| 氏名     | 企業・団体名        | 部署・役職 |
|--------|---------------|-------|
| 佐々木 一弥 | 一般社団法人岩手県獣医師会 | 会長    |
| 佐藤 れい子 | 岩手大学動物病院      | 名誉教授  |
| 佐々木 千晶 | 小川動物病院        | 動物看護師 |
| 高橋 美侑紀 | サンペット本宮店      | 店長    |
| 佐藤 丈嗣  | サくらんぽっこ       | 代表    |
| 工藤 昌雄  | 盛岡ペットワールド専門学校 | 校長    |
| 吉田 淳   | 盛岡ペットワールド専門学校 | 事務局   |
| 三上 祐太  | 盛岡ペットワールド専門学校 | 統括主任  |
| 下斗米 恵  | 盛岡ペットワールド専門学校 | 事務局   |

### 2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 開催趣旨説明、委員紹介
- (4) 令和元年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

### 3. 討議内容

本校の教育理念・目標について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善対策等について外部委員の皆様と意見交換した。

#### (1) 教育理念・目標

本校の教育目標は「人と動物とのよりよい関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」の2点、教育目標達成のための3つの重点項目は、「教育内容」「学生支援」「社会的活動」であることを説明した。

学校理念、目標、育成人材像、特色、将来構想などを学生に周知しているが、今後の課題としては、保護者への周知がやや不足していることを報告した。

今後もアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを学生および保護者へ説明をしながら、人間力を高める指導を行っていく。

#### (2) 学校運営について

法人本部と連携を図り、グループ校間とも情報共有をしながら学校運営をしていることを説明した。教育活動などに関する情報公開については、ホームページやSNSを利用して実施しているが、従来の方法でしか取り組めておらず、新しい取り組みが出来なかったことを報告し、今年度は、放課後の時間を使い、学生と一緒に新しい取り組みをすることにご理解いただいた。今後、情報システム化等による業務の効率化を図り、オンライン授業などの対策を検討する。

#### (3) 教育活動について

教育理念に沿った教育課程の編成や方針、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確になっていると報告した。職業教育に対する外部評価については、インターンシップ実習や学校行事の中で行っていることを説明し、実践型授業のルーブリック評価基準、社会人基礎力評価基準を確認していただいた。

関連分野における先端的な知識・技能を修得するために、有能な教員の確保、教員の研修の場が課題になっていることを説明した。委員から校内研修や校外研修はもちろん、オンラインを利用した研修も検討し、教員の知識・技術の向上を図るようにとご意見をいただいた。

(4) 学習成果について

就職状況、資格取得状況については、高い結果を出せていることを報告した。退学率の低減対策として、給付奨学金の制度の拡充、学生アンケートの実施、学生に週報ノートの提出をしてもらい、学生の状況を確認するなど、学生一人一人を職員で支援することを目指している。

MCLグループで統一した教育の質の向上に向け、MCLスタンダードプログラム授業を開始していることを報告し、ご理解いただいた。

(5) 学生支援について

本校の卒業生は、1000名に上るが、現在は、ホームページやSNSでの就職支援を行っている。卒後教育の場を提供できていないことを報告した。今後は、愛玩動物看護師の国家資格化により不安を感じる卒業生も多くなることから、学校からも情報発信を行うようにとご意見をいただいた。

(6) 教育環境について

全国的にオンライン授業が一気に広がっているが、本校のWi-Fi環境は、5階のみとなっている。一人一台のPCやタブレット端末の使用、全館Wi-Fi完備について導入を検討している。

防災については、年1回「学校動物との同行避難」を実施していることを報告した。

(7) 学生の受け入れ募集について

学生の受け入れ募集については、MCL専門学校グループ合同で行っていると説明した。

来年度から、「ペットショップビジネス科」を「動物飼育科」へ学科名変更し、ペットショップコースと動物園・水族館コースに分かれることを報告した。

(8) 財務について

財務に関しては、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より承諾があった。

(9) 法令順守について

法令順守に関しては、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より承諾があった。

#### (10) 社会貢献・地域貢献について

学生のボランティア活動については、積極的に呼び掛けており、動物に関連する活動の他に、地域活性化に関連するボランティアにも参加するように指導していることを報告した。

#### 4. まとめ

自己点検の評価項目について、状況報告及び改善策の説明報告を行い、委員の皆さまから様々なご意見をいただいた。在学中だけでなく、卒業後も状況を把握しながら、支援する必要があることから、具体的な対策を講じ、計画的に改善できるよう努めていくこととする。

特に、愛玩動物看護師の国家資格化については、適切なカリキュラム、教員の確保、教育環境の整備などが必要となる。在校生および卒業に対し情報を提供しながら、確実に準備を進める。

今後も、人と動物のより良い関係づくりを目指し、社会で活躍できる人財を育成するため、教育環境の整備に取り組んでいきたい。